

船舶事故調査報告書

平成24年1月26日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 石 川 敏 行
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成23年6月26日 02時00分ごろ
発生場所	静岡県磐田市福田漁港西防波堤南端付近 （概位 北緯34° 39.6′ 東経137° 54.4′）
事故調査の経過	平成23年7月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第八東海丸、40トン 140036、有限会社第八東海丸 21.30m (Lr) × 4.90m × 2.19m、軽合金 ディーゼル機関、670kW、平成16年7月
乗組員等に関する情報	船長 男性 26歳 五級海技士（航海） 免許年月日 平成17年3月4日 免状交付年月日 平成22年4月8日 免状有効期間満了日 平成27年4月7日
死傷者等	なし
損傷	右舷船首外板の破口及び凹損、両舷船底外板及び右舷ビルジキールの凹損、プロペラ軸及びプロペラ羽根の曲損
事故の経過	本船は、船長ほか6人が乗り組み、沖合底引き網漁の目的で福田漁港の岸壁を離れ、東方に開口された港口の西防波堤南端付近を速力約6～7ノットで東南東進中、右舷前方から来た高い波により大きく横揺れしたため、船長が、これ以上の横揺れを防止するため、慌てて舵を右に切ったところ、平成23年6月26日02時00分ごろ西防波堤南端付近の波消しブロックに乗り揚げた。 本船は、波に揉まれて自然に離礁し、福田漁港沖を航行していたが、クラッチの潤滑油の温度上昇のために航行不能と判断し、僚船に救助を要請した後、僚船にえい航され、12時00分ごろ愛知県蒲郡市知柄漁港に入港した。
気象・海象	気象：天気 霧、風向 南東、風速 約3m/s、視程 約100m 海象：波向 南南東、波高 約3～4m、潮汐 下げ潮の初期
その他の事項	本船は、遠州灘で年間約50回操業しており、その間、夜間の休息のために年間約100回福田漁港に入港していた。 船長は、年間約50回の操業のうち約10回船長として乗船し、その他は航海士として乗船していた。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、福田漁港港口付近を東南東進中、右舷前方からの波により船体が横揺れした際、船長が横揺れを防止する目的で舵を右に切り、南南東からの波を受けたことから、港口の西防波堤南端付近の波消しブロックに乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、福田漁港港口付近を東南東進中、右舷前方からの波により船体が横揺れした際、船長が横揺れを防止する目的で舵を右に切り、南南東からの波を受けたため、港口の西防波堤南端付近の波消しブロックに乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	